

文化の風が吹くまち ちくしの

文化薫道

◆其の五十八

その時、山家の土地は動いた

山家地区は、昭和30年に一町五村の合併で筑紫野町となるまでは山家村でした。江戸時代の記録にも山家村としてその名前が見られます。この山家という地名はいつ頃から使われていたのでしょうか。

現在の山口市を拠点に、中国地方から九州北部にかけての国々の守護であった大内政弘(おおうちまさひろ)の家臣が残した文書に、「筑前国夜須郡山家庄」内の土地を5人の人物に与える、という記述があります。文明10(1478)年のことで、室町時代の中頃には山家という地名が使われていたことがわかります。

この前の年、文明9(1477)年には、約10年続いた応仁の乱が終わっています。大内政弘は、山名宗全(やまなそうぜん)を大将とする西軍に加わり、長く京都で活動していたため、支配地の北部九州は敵の勢力により脅かされていました。そこで、乱が終わり山口に戻った大内政弘はすべさま出陣



現在の山家地区

し、その平定にあたります。山家の名が出てくる文書は、この出陣中に作られたものなのです。

さらに文書を読むと、5人に与えられた土地はすべて、元は砧綿右馬允(とわたうまのじょう)という人物のものであったことが分かります。おそらくは、大内氏に従わなかった砧綿右馬允の領地を、味方となった5人に分け与えた、ということなのでしょう。

山家の地も、日本中を巻き込んだ大乱の余波を受けていたのです。教科書に出てくる出来事は、当時の人々にとって決して他人事ではなかったのです。

問い合わせ先／文化財課



広報 ちくしの

Chikushino No.1167
2020年10月15日号

発行／筑紫野市 編集／秘書広報課 ホームページ／<https://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>
〒818-8686 福岡県筑紫野市石崎一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(923)5391

印刷／久野印刷株式会社
発行部数／42,600部



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市LINE公式アカウント
<https://lin.ee/6X9wMoy>